



LIONHEART

L20H - MANUAL

はじめに

この製品は英国にて設計、デザイン、製造されています。

Lionheartシリーズは、独特のレスポンスを持つ英国製チューブ・トーンこだわるギタリストのために、プティック系のシングルエンドとパラレル・シングルエンドのクラスA回路によるチューブ・トーンを提供します。

The Dark Art: プリアンプによる歪みにギタリストが注目を集めたことにより、真空管パワーアンプを強くプッシュして作られる伝説的なサウンドは、歴史に埋もれていました。

そんな中、生まれたL20Hの20Wパラレル・クラスAシングルエンド出力は、クラシックで温かいチューブトーン。

このアンプは、ハードに鳴らせば鳴らすほど、良い音が出ます。また、現代的なサウンドに必要な十分なゲインを備えているだけでなく、ダーティーなサウンドの側面もあり、あらゆるスタイルの演奏に理想的です。スタジオや練習用に最適だけでなく、Laney LT-212キャビネットを接続し、ステージで使用しても、そのサウンドに圧倒されることでしょう。

Lionheartの製品はすべて経験豊富なギタリストによって徹底的にテストされます。合格すると、ユニットには製造番号が割り当てられ、背面に取り付けられたプレートに手で刻印されます。

L20Hは、長年にわたって問題なく使用できるアンプです。このマニュアルを読み、コントロールに慣れていただくことで、アンプの性能を最大限に引き出すことができます。

L20Hの特徴



1 - HI INPUT

シングルコイルやローゲイン・ハムバッカータイプのピックアップを持つギターに適しています。この入力にハイゲインなピックアップのギターを接続すると、プリアンプを強くドライブし過ぎて不明瞭な音になる可能性があります。高品質なギターケーブルの使用を推奨します。

2 - LO INPUT

ゲインはHI INPUTより約50%低く設定しており、高出力のギター用に設計されています。ハイゲインのハムバッカータイプのピックアップからは、「タイト」で「明瞭」な出力が得られます。また、この入力は、極低音のレスポンスが良く、クリーンな音域の広いサウンドにも対応します。高品質なギターケーブルの使用を推奨します。

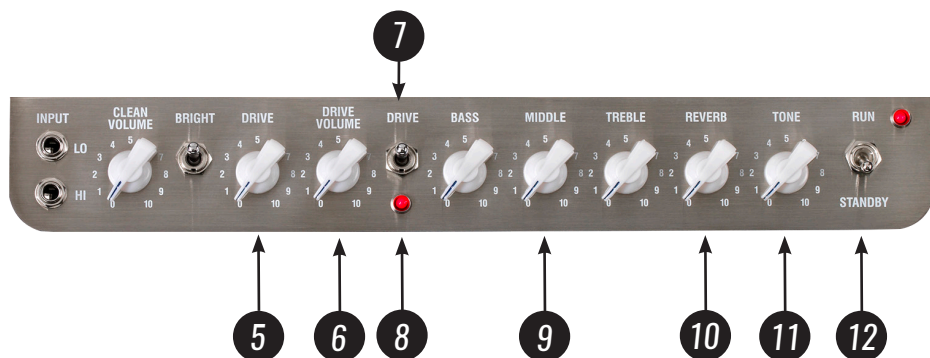
3 - CLEAN VOLUME

クリーンチャンネルの音量を設定します。音量を少し大きめに設定してパワー管を強くドライブすると、高品質な真空管アンプならではのリアルなレトロサウンドとフィードバックが得られます。歪みの量はギターのボリュームを使ってコントロールしてください。(ボリュームを上げると歪み、クリーンなサウンドを得たいときは少し下げます。)

4 - BRIGHT

クリーンチャンネルで使用する、ギターの高音域に明るさと躍動感を与えます。ドライブ・チャンネルでは、エッジとピッキングを強調します。このスイッチは、CLEAN VOL/DRIVEの設定が低いほど効果があります。最適なパフォーマンスを得るためには、TrebleおよびToneコントロールと組み合わせて使用してください。スイッチを上にする则有効になります。

L20Hの特徴



5 - DRIVE

真空管プリアンプのドライブのゲイン、またはサウンドのダーティーさを設定します。このコントロールは、DRIVE VOL (6) と組み合わせて使用します。ゲインを低くして、DRIVE VOLを高く設定すると、クリーンなサウンドになります。DRIVEのゲインとDRIVE VOLを中程度に設定すると、歯切れの良いブルージーなリードトーンが得られ、DRIVE VOLを大きくすると出力段を大きくドライブすることができます。DRIVEのゲインを高めに、DRIVE VOLを低めに設定すると、パンチの効いたハードロックのリードトーンが得られます。DRIVEコントロールとDRIVE VOLコントロールを好みのサウンドに設定し、ギターのパリュームとトーン・コントロールに触れずに、演奏してみてください。優れた真空管アンプは、ギターのコントロール、演奏の重さや演奏スタイルだけで、幅広いサウンドを生み出すことができます。

6 - DRIVE VOLUME

「Drive」チャンネルの音量を設定します。DRIVEとDRIVE VOLは必ず組み合わせて使用します。オープンで温かみのあるセミオーバードライブ・サウンドが欲しい場合、DRIVEの量を減らし、DRIVE VOLを大きくしてみてください。これにより、プリアンプのゲインは減少しますが、パワーアンプ・セクションをよりハードに動作させることができるため、「レトロ」スタイルのサウンドを楽しむことができます。

7 - DRIVE SWITCH

スイッチを上げると「Drive」チャンネルが有効になります。(フットスイッチでドライブを遠隔操作するには、このスイッチが下 (OFF) になっている必要があります)

8 - DRIVE LED

このLEDは、Driveスイッチ(8)または付属のLaney FS2-miniリモートフットスイッチにより、Driveチャンネルがアクティブになると点灯します。

9 - BASS、MIDDLE、TREBLE

伝統的なパッシブ・トーン・コントロールのセットです。パッシブ・コントロールは、どのような設定でも自然なサウンドが得られるという利点があります。これを使って、ギタリストは理想的なサウンドを生成できます。※音作りのスタートとして、すべてをセンター位置に設定してみてください。

L20Hの特徴**10 - REVERB**

内蔵されているリバーブ・エフェクトの効きをコントロールします。

11 - TONE

ギターのトーン・コントロールと同じように機能します。このコントロールは、全体のレスポンスをコントロールするだけでなく、出力段の高音域のハーモニクスやプリアンプのオーバードライブ・サウンドを抑えることができます。これにより、高い設定では明るいカッティングサウンド、低い設定では滑らかな丸いサウンドが得られます。(センター位置 (5) から調整するのが推奨します)

12 - STANDBY SWITCH

音を出力せずに、真空管を温めておき、すぐに使えるようにしておきます。短い休憩時間などにスタンバイに切り替えます。

13 - POWER LED

アンプの電源が入っているとき点灯します。使用しないときは、必ず電源を切り、電源コードを抜いてください。

L20Hの特徴



14- POWER INLET SOCKET

電源コードを接続します。指定された電圧の電源に接続してください。

15- POWER FUSE (パワーヒューズ)

ホルダーにメインヒューズが入っています。供給されるAC電源からアンプを保護します。故障や火災の原因になりますので、パネルに記載されている正しいサイズと定格のヒューズを使用してください。ヒューズを正しいものに交換しても切れてしまう場合は、アンプの内部に故障が発生している可能性がありますので、直ちに使用を中止し、販売代理店に連絡してください。

16- POWER

主電源スイッチです。

17- HT FUSE

このヒューズは、供給されるDC電源からアンプ内の真空管を保護します。故障の原因となりますので、パネルに記載されている正しいサイズと定格のヒューズを使用してください。ヒューズを交換しても、再び切れてしまう場合は、アンプが故障している可能性があります。販売代理店に連絡してください。

18- 拡張キャビネット

8〜16Ωの拡張キャビネットを接続する際に使用します。インピーダンスの不一致は、アンプの性能を低下させ、場合によってはアンプの故障の原因となります。

L20Hの特徴



19- FX-LOOP

FX RETURN

外部FXユニットからの出力を接続するためのモノラル端子です。また、外部プリアンプ等からパワーアンプへの入力としても使用できます。

FXLOOP SWITCH

FXループの動作モードを選択します

10 dBu

出力レベルが-10dBuのFXユニットを接続します。

出力レベルの低い機器を対象としており、ONにするとFXループゲインを10dBu増加させます。

0 dBu

出力レベルが0 dBuのFXユニットを接続します。

Bypass

FXループをバイパスします。

20 - FX SEND

外部エフェクター用の出力端子、外部FXユニットの”入力”へ接続します。

フットスイッチソケット

Laney FS2-MINIなどのフットスイッチを接続するためのソケットです。

これにより、クリーン/ドライブチャンネルの切り替えや、内蔵リバーブのオン/オフを行うことができます。

真空管アンプを長持ちさせる方法

真空管アンプは、一般的にソリッドステート・アンプよりも温かく甘い音が特徴です。しかしながら、壊れやすいガラス管を使用しているため、注意を払う必要があります。L20Hは、最高品質のECC83プリアンプ管3本とEL84出力管4本を使用しており、他の真空管アンプと同様に、丁寧に扱うことが大切です。

真空管は壊れやすいガラス部品です。アンプを車から出し入れするだけで簡単に破損する可能性があります。

キャビネットのインピーダンスが、アンプの設定と一致していることを確認してください。出力パワーの低下やサウンドの劣化、アンプの故障や真空管の劣化につながります。

電源をONにする前に、アンプを室温まで温めてください。冷たいガラス管が急激に加熱されることにより、ひびが入る恐れがあります。また、湿度の高い場所で使用すると高電圧電子部品に影響を与える場合があります。

演奏後、アンプが冷めてから移動してください。駆動により熱くなった状態の真空管は壊れやすくなります。高品質のスピーカーケーブルを使用してください。品質の悪いスピーカーケーブルは、スピーカーの大きな負荷に 대응することができず、しばしばショートしてしまいます。

真空管アンプは、回路の断線を嫌います。真空管の寿命は、使用温度、演奏頻度、移動中の振動など、さまざまな要因が関係しています。真空管は、アンプの性能に何らかの変化があった場合に交換する必要がありますが、定期的に交換する必要はありません。

プリアンプ管で起こる典型的な問題は、クラック・ノイズ、ヒスノイズ、ハムノイズ、マイクロフォニック・ノイズなどが発生することです。プリアンプ管は、故障したり性能が低下したりした場合には、簡単に交換することができます。

よく起こる出力管（パワー管）の問題は、HTヒューズの溶断、音にパンチがない、高音や低音が出ない、低レベルのハムノイズなどです。出力管は、工場出荷時に装着されているものと全く同じタイプとグレードのものに交換すれば、単独で交換することができますが、そうでない場合はセットで交換する必要があります。装着されている真空管のグレードを確認するには、以下の図を参照してください。プリアンプ管の正確な交換と出力管の適合セットは、販売店を通じてLaney社から入手できます。

真空管を交換

真空管を交換するには、本機のスイッチを切り、コンセントからプラグを抜きます。真空管が冷めるのを待ちます。アンプの前面を下にして、4本のネジで固定された保護グリルを外します。プリアンプの真空管はスクリーン管で保護されています。チューブをゆっくりと引き抜きます。新しいチューブを押し込む際には、ピンがすべて正しく配置されていることを確認してください。アウトプット・チューブにはスプリングロックが付いており、これを引き抜かないとチューブが抜けません。

アンプの接続

エフェクト・プロセッサーなどのシステム・ユニットすべてを接続した状態で最後にギターアンプの電源を入れます。多くの製品では、電源のオン/オフ時に大きな過渡的なサージが発生し、スピーカーにダメージを与える可能性があります。ギターアンプはボリュームコントロールを最小に設定し、最後に電源を入れることで、他の機器からのサージがスピーカーに到達しないようにします。使用する前にすべてのシステム・ユニットが安定するまで待ちます（通常は数秒）。同様に、システムをオフにするときも、他の機器をオフにする前に、必ずギターアンプのボリュームコントロールを下げてから、電源をオフにしてください。

ケーブル

スピーカーの接続には、スピーカーケーブルを使用し、シールドケーブルやマイクケーブルは絶対に使用しないでください。アンプに負荷がかかり故障の原因になります。

プロ用スピーカーシステムは、非常に高いレベルの音圧を発生させ、聴覚に影響を与える可能性があります。（2ページ目のガイドラインをご参照ください）。設置や操作には十分注意してください。

修理について

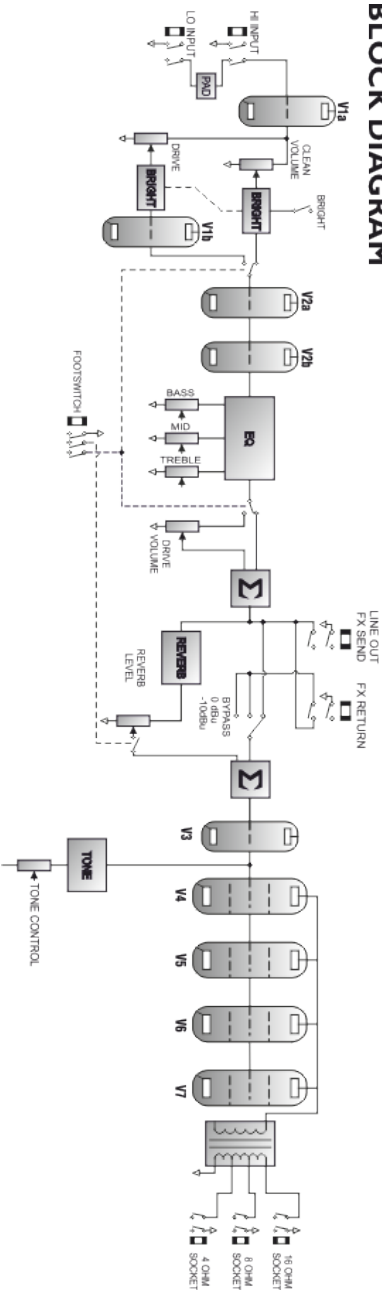
修理に関しては販売代理店に連絡してください。



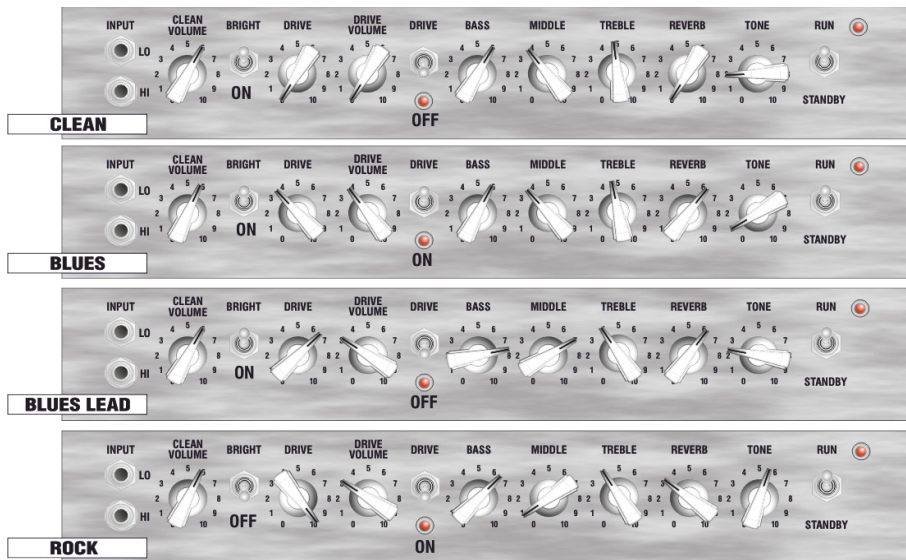
TUBE TABLE

V1	ECC83	005570
V2	ECC83	005570
V3	ECC83	005570
V4-V7	EL84	005563

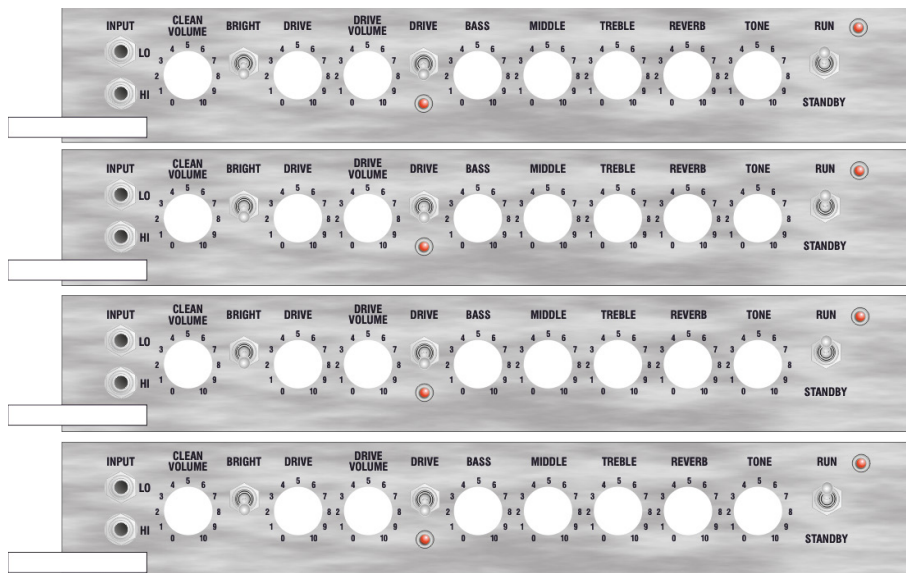
BLOCK DIAGRAM



クイック・セットアップ・ガイド



設定例



技術仕様

モデル	L20H
製品	GUITARアンプ
出力	20ワットRMS
チャンネル	ツインチャンネル
コントロール	CLEAN VOL (クリーンボリューム)
	BRIGHT (ブライツスイッチ)
	DRIVE (ドライブ)
	DRIVE VOL (ドライブボリューム)
	DRIVE SWITCH (ドライブスイッチ)
	BASS (ベース)
	MIDDLE (ミドル)
	TREBLE (トレブル)
	REVERB (リバーブ)
	TONE (トーン)
	外部スピーカーソケット
	FXループ/LINE OUTセンド
	FX RETURN (FXループリターン)
	フットスイッチソケット (FS2-MINI)
ユニットサイズ	225x565x255 mm (H x W x D)
本体重量	15.5 kg
カートンサイズ	375x740x375 mm (H x W x D)
梱包重量	18.5 kg



L20H

仕様は事前の通知なしに変更される場合があります。

www.laney.co.uk

V1.0

